



秋風を心地よく感じる過ごしやすい季節になりました。夏から秋の旬のカボチャは、アメリカ大陸産の野菜です。今では日本でも10月になると、さまざまな場所でハロウィーンの催しがおこなわれます。ハロウィーンにつきもののジャック・オ・ランタンはアメリカではカボチャですが、ハロウィーンの生まれ故郷の  アイルランドやスコットランドでは大きなカブで作られていました。実りの秋に感謝！ですね。



スポーツの秋です！

さわやかな秋の気候は、運動をするのにぴったりの季節です。各地で秋のスポーツイベントが開かれていますね。図書館には運動に関する本もたくさんあります。スポーツに親しむとともに、憧れの選手の伝記や興味のあるスポーツの本に触れてみるのもいいですね。話題の大谷翔平選手の本も、新しく入りました。興味ある人は新着図書コーナーをのぞいてみてください。

「大谷英語」 太刀川正樹著 783タ

「大谷翔平語録」 斉藤庸裕著 783サ

10月生まれです！



こむらじゅ たろう
小村寿太郎

1885-1911

小村寿太郎は、現在の宮崎県で下級武士の子として生まれました。10代で初の文部省海外留学生として、ハーバード大学に留学して勉学に励みました。帰国後は、司法省から外務省に転じ、明治時代の数多くの大きな外交交渉で手腕を発揮しました。特に2度の外相時代には日英同盟の締結、条約改正などの業績を残し、近代日本の外交を体現した人物として知られています。

新着図書のコーナーから

「ジャンル特化型 ホラーの扉」

澤村伊智 他：著 913ジ



「こわい話の本はありますか？」これは小中学校の図書室では必ずあるレファレンスです。人はどうして怖いものや恐ろしいものに魅かれるのでしょうか・・・？この本は、そんなホラーの魅力の人気作家8人のアンソロジーでジャンル別に分析しながら紐解いていきます。あなたの恐怖の根源は何なのか理解できるかも。秋の夜長に、眠れなくなりそうなホラーはいかが？

「チョコレートパイはなぜ1個目がいちばん

おいしいのか？」(韓国最強の「実験経済部」の生徒が学ぶ中学生

でもわかる経済のはなし) キム・ナヨン：作 331キ

ますます複雑になっていく現代社会の中で経済を理解しお金の管理をすることがどれだけ重要なことなのかは中学生でもわかります。いや中学生だからこそ学ばなければ生き残ることができないかもしれません。少し難しい経済用語も身近な例を挙げてわかりやすく説明されていてこんな実験なら参加してみたいと思ってしまいます。経済や数学もゲーム感覚で学べる(?)本です。

「君を守ろうとする猫の話」夏川草介：作 913ナ

主人公は喘息の持病がある本好きの中学生の女の子。ある日言葉を話す猫と出会い本を巡る闘いに巻き込まれながらも果敢に挑んでいくファンタジー。灰色の男が登場するあたりは、ミヒヤエル・エンデの「モモ」を思わせるストーリー展開で、実在する本の題名がたくさん出てくる場面などは、本が好きな人には興味深いかも。現代人の心の在り方や、想像する力について考えながらも読後はほんわか温かく優しい気持ちになれます。